



平成 28 年度
こどもエコクラブ全国フェスティバル 2017
～輝け☆全国のアースレンジャー！～
実施報告書

はじめに

こどもエコクラブは、子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育み、地域の環境活動の環を広げることを目的として1995年にスタートしました。事業開始から20年以上が経過し、大人になったかつての子どもたちが、こどもエコクラブの活動を通じて培った力を地域のまちづくりに発揮しはじめています。

2016年度は、全国で2,013クラブ、113,920人の幼児から高校生までの子どもたちが、それぞれの地域に根ざした環境活動を行い、2017年3月に1年間の活動の締めくくりとして、こどもエコクラブ全国フェスティバルを開催しました。参加した子どもたちは、活動をまとめた壁新聞や絵日記をもとに日々の活動などを発表して交流を深めるとともに、活動に対する表彰状を贈りあってお互いの活動を称えました。また、企業・団体展示コーナーを見学して企業・団体の環境への取り組みについて楽しく考える機会を持ちました。

また、こどもエコクラブのOB・OGからなるAll Japan Youth Eco-clubのメンバーも本フェスティバルに参加し、当日の運営をサポートするとともに、クラブを卒業した現在の、環境問題や環境保全活動との関わりについて報告してくれました。これらの経験は、メンバーの更なる成長を促し、子どもたちを通じて多くの方々にも伝わっていくことと思います。

本報告書は、この全国フェスティバルの様子をまとめたものです。こどもエコクラブをご理解いただき、今後の連携・協働を進める上で、ご参考になれば幸いです。

目次

開催概要	3	表彰式	11
プログラム	4	受賞作品一覧	12
オープニングセレモニー	5	幼児クラブを対象とした「ミールケア・エコまる賞」の授与	15
交流タイム	5	クラブ活動フォトコンテスト年間賞の決定	15
エコ活セッション	6	クロージングセレモニー	16
サポーター交流会	6	がんばれ熊本・大分！エール交換	16
企業・団体の環境への取り組みを見てみよう！	7	子どもたちからの活動レポート	17
All Japan Youth Eco-clubによる発表	10	サポーターからの声	17
みんなで表彰式★～賞状作り～	10	代表クラブ一覧	18
みんなで表彰式★～表彰式～	10	広報・普及活動	19
来賓挨拶	11		

開催概要

- イベント名: 「こどもエコクラブ全国フェスティバル2017 ～輝け☆全国のアースレンジャー!～」
- 実施目的: 熱心に活動をしている全国各地のこどもエコクラブの子どもたちが集い、環境活動の紹介を通じて相互の交流を深めるとともに、これらの情報を広く発信することにより、こどもエコクラブの活動の活性化及び本事業への理解と参加促進を図ります。

称える

活動発表や展示の機会を設け、一年間のがんばりを称え合う。

交わる

全国で活動する仲間(子ども・大人)の交わりを提供する。

知る

様々な体験学習を通じて新しい発見を得る。

広める

「こどもエコクラブ」事業への理解と参加を広く呼びかける。

- 開催日 : 2017年3月19日(日)
- 会場 : 早稲田大学 西早稲田キャンパス理工学術院 63号館(東京都新宿区大久保三丁目4-1)
- 主催 : 公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)
- 共催 : 早稲田大学環境保全センター
- 後援 : 環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁、公益社団法人こども環境学会、全国小中学校環境教育研究会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK
- 出展企業・団体:
アマノ株式会社、株式会社イトーキ、株式会社エフピコ、王子ホールディングス株式会社、SGホールディングスグループ(佐川急便)、島村楽器株式会社、DOWAエコシステム株式会社、トヨタ自動車株式会社、ニッポンハムグループ、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、文化シャッター株式会社、三井化学株式会社、株式会社三井住友銀行、ライオン株式会社、エコマーク事務局
- 協力 : 株式会社ミールケア、東京都水道局、井筒まい泉株式会社、株式会社ケニス、三井不動産株式会社、株式会社龍角散
- 参加者 : 619名
 - ・都道府県代表クラブ: 475名(子ども277名、大人198名)
 - ・絵日記受賞メンバー: 8名(子ども5名、大人3名)
 - ・一般クラブ: 13名(子ども6名、大人7名)
 - ・こどもエコクラブ自治体担当者: 10名
 - ・企業・団体担当者: 61名
 - ・関係者: 52名

○都道府県代表クラブ

代表クラブは、1年間の活動などをまとめた「壁新聞」をもとに、独創性・発展性・アピール力・地域への密着性等の観点から選ばれたクラブ。各都道府県から原則2クラブ選出。

○絵日記受賞メンバー

1年間で印象に残った活動等を描いた絵日記をもとに、選考委員会にて選ばれた優秀賞受賞メンバー

時 間	プログラム	展 示
9:15～ 10:00	◆集合、受付	
10:00～10:05	◆オープニングセレモニー はじまりのあいさつ 司会:こどもエコ広場新宿	
10:05～10:45	◆交流タイム「なかまを さがそう!!」	
10:45～12:00	◆エコ活セッション 壁新聞をもとにクラブの活動を発表・取材しあう	◆サポーター交流会
12:00～12:15	◆企業・団体の紹介 ・こどもエコクラブを応援している企業・団体を紹介 ・企業・団体ブースで展示している環境に関する取り組み内容の紹介	
12:15～13:35	◆昼食 ◆企業団体の環境への取り組みを学ぼう	◆ユース発足式
13:35～13:50	◆集合写真撮影	
13:50～14:45	◆みんなで表彰式★～賞状作り～ パートナーになったクラブに向けて、オリジナルの賞状を作成	
14:45～14:50	◆来賓挨拶 環境省 総合環境政策局長 奥主 喜美 様	・全国から届いた壁新聞と絵日記の展示
14:50～15:15	◆表彰式 【壁新聞部門】 環境大臣賞:熊本県益城町「広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)」 文部科学大臣賞:愛媛県新居浜市「レインボーキッズ」 日本環境協会賞:新潟県南魚沼市「上田エコクラブ」 三井住友銀行賞:福島県郡山市「湖南エコクラブ」 早稲田大学賞:島根県出雲市「上津探検隊」 エコマーク賞:大分県別府市「大平山友遊エコクラブ」 【幼児部門】ミールケア・エコまる賞: 青森県十和田市「緑と太陽の保育園 グリーン・キッズ」 栃木県宇都宮市「清原ねいちゃーきっず」 【絵日記部門】優秀賞: 山谷 耀子さん(青森県弘前市「HEP21 エコクラブ」) 小野 龍之介さん(栃木県宇都宮市「東峰エコキッズ」) 水谷 香菜優さん(大阪府大阪市「せいわエコクラブ」) 天羽 悠月さん(兵庫県神戸市「玉ーアクアリウム」) 【活動フォトコンテスト年間賞】 平成 28 年度こどもエコクラブ賞:茨城県水戸市「逆川こどもエコクラブ」 平成 28 年度ニコン賞:大阪府大阪市「大阪ハッケンジャー」	・活動フォトコンテスト受賞作品展示・年間賞投票 ・こどもエコクラブ応援企業・団体一覧
15:15～15:30	◆みんなで表彰式★～表彰式～ パートナークラブ同士でオリジナル賞状を交換し、一年間の活動を称えあう	
15:30～16:00	クロージングセレモニー ・がんばれ熊本・大分！ エール交換 熊本地震の被災地クラブと全国のクラブとでエールを交換 ・一日のふりかえり ・こどもエコクラブ憲章の読み上げと閉会の挨拶	

オープニングセレモニー

こどもエコクラブはメンバー(子ども)が主役！全国フェスティバルもメンバーが進行します。今年は、東京都の代表クラブ「こどもエコ広場新宿」のメンバーが司会として、全国から集まった仲間たちを元気に迎えました。

各都道府県の代表クラブや絵日記受賞メンバー等、全国フェス史上最多の 619 名が集まった早稲田大学西早稲田キャンパスには、こどもエコクラブの人気キャラクター「エコまる」、ライオンの「ライオンちゃん」が駆けつけ、本イベントを大いに盛り上げました。



子どもたちによる司会



キャラクターも子どもたちと一緒に参加

交流タイム

メンバーの緊張をほぐし全国の仲間と楽しく交流するためのプログラム「なかまをさがそう!!」を行いました。メンバーは、「好きなくだもの」、「生まれた月」といったお題に沿って、自分と同じ仲間を探します。集まった仲間同士で、オリジナルの名刺を使って自己紹介をしながら、交流を深めました。

自分が行ったことのない地域の仲間の名刺を集めて、みんなニッコリ♪全国各地にこどもエコクラブの仲間がいることを実感しました。



エコ活セッション

日頃行っている環境活動をまとめた壁新聞をもとにクラブが発表を行い、他のクラブがそれを取材しました。みんなが分かりやすいよう、手作りのパネルやさまざまな小道具を使って発表するクラブ、クイズ形式で発表するクラブなど、どのクラブもさまざまな工夫を凝らし、自分たちが一年間行ってきた環境活動をアピールしました。取材に回ったクラブは会場内を自由に行き来して、興味をもったクラブの話の聞いたり、メモをとったりして、会場内は例年以上ににぎやかで活気にあふれていました。



たくさんのクラブを取材する中で、苦労したことや課題について共感があったり、これからの活動のヒントをつかんだり、クラブにとって実りの多い時間となったようです。



サポーター交流会

子どもたちが交流をしている間に、メンバーを支えるサポーター同士で日頃の活動での悩みや課題、今後チャレンジしたいことなどについて、活発に議論を行いました。急な呼びかけにもかかわらず、20クラブ 28人のサポーターに加え、地域担当者(コーディネーター)など、こどもエコクラブに関わる方々も参加してくれました。進行は All Japan Youth のメンバー4人が担当し、グループ毎に熱心な意見交換が繰り上げられました。

課題として、中高生の活動の継続が難しいこと、学校のクラブでは教員の異動が活動の持続に影響すること、もう少し企業や団体からの支援が欲しいなどが挙げられ、それぞれの解決策についてアイデア出しを行いました。

最後にサポーターを代表して、茨城県の逆川こどもエコクラブの川島さんから「それぞれのクラブがもっと地域で活発に地元の人たちを巻き込んで活動していけば、必ず行政や地元の企業や・団体の方から注目される存在になる。そうすれば自ずと支援がいただけるようになり、活動も持続していけるものになっていく。今後も機会をみつけて今回のようにサポーター同士の交流を深めていけるとよい」という感想をいただきました。

今回の交流をきっかけに、今後もクラブ同士で地域を越えた交流が始まることを期待しています。



企業・団体の環境への取り組みを見てみよう！

こどもエコクラブを応援している企業・団体によるブースを見学して、企業・団体が取り組んでいる環境に優しい様々な取り組みについて学びました。環境対策を担当している企業・団体の方から直接話を聞いたり質問したりすることで、子どもたちは新たな発見を得たり、地球環境をよくしていこうとする社会の動きを実感したりしました。

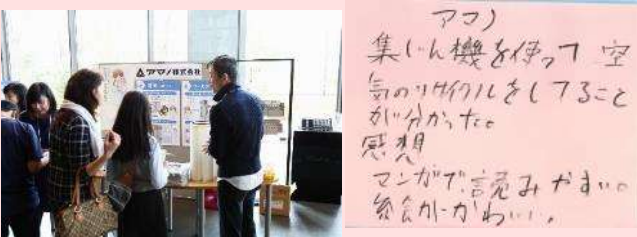
子どもたちは、それぞれのブースを取材して学んだこと・感じたことを書きとめるとともに、「こどもエコクラブからのメッセージ」として、日本地図の上に展示しました。子どもたちのメッセージは、参加した企業・団体に届けられ、今後の環境に関わる活動の参考にしていただきます。



● 企業・団体の出展内容

アマノ株式会社

工場で作る「ホコリ・ちり」などを吸い取って、きれいな空気にリサイクルする集塵機について、実物を触りながら学びました。



株式会社イトーキ

地域材や国産材を家具などに活用し、日本の林業の再生と森林を活性化する取り組み「Econifa」や、森と水を守る取り組みについて学びました。



株式会社エフピコ

使用済みトレーをトレーにリサイクルする「トレーto トレー」や透明容器やペットボトルのリサイクルについて学び、リサイクルの大切さを実感しました。



王子ホールディングス株式会社

森を「植えて、育てて、活用する」活動や日本最大の淡水魚「イトウ」、森の宝石箱といわれる「ヤイロチョウ」などの絶滅危惧種を守る活動について学びました。



SG ホールディングスグループ(佐川急便)

環境にやさしい配送について「環境に優しいトラック」、「エコユニフォーム」、「森を元気にする活動」の工夫について知ることができました。



島村楽器株式会社

楽器を修理する様子を見ながら、壊れたりした楽器を使えるようにして世界中に届ける「楽器で世界を笑顔にしよう～楽器リサイクルプロジェクト～」を学びました。



DOWA エコシステム株式会社

携帯電話をはじめとした身近な電気製品に、リサイクルできる金属が使われていることを発見しました。



ニッポンハムグループ

美味しい食べ物は、健康な森林や海から生まれてくること、そのためには自然を守ることが大切であることを、クイズを通して楽しく考えました。



公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

プラスチック製容器包装や PET ボトルのリサイクル工程の紹介、資源ごみとして出すと危険なものなどを動画を見ながら理解を深めました。



文化シャッター株式会社

住宅などを壊したときに出る木材(廃材)と、ペットボトルのキャップなどのプラスチック廃棄物を使った環境に優しい新素材「テクモク」について学びました。



三井化学株式会社

自動車部材を軽くするとどれくらい環境にやさしいか、また海洋に流出した油を吸い取る実験を通じて、化学の力で環境を守る取り組みを学びました。



株式会社三井住友銀行

子ども向けの環境情報誌 JUNIOR SAFE を使って、環境問題に関するクイズを行い身近にできるエコアクションについて考えました。



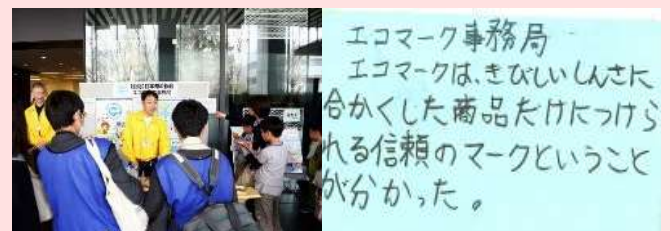
ライオン株式会社

節水型の商品の開発や、雨水を活用するアイデア募集のコンテストを行うことで、水の大切さを多くの人に広めていることを知りました。



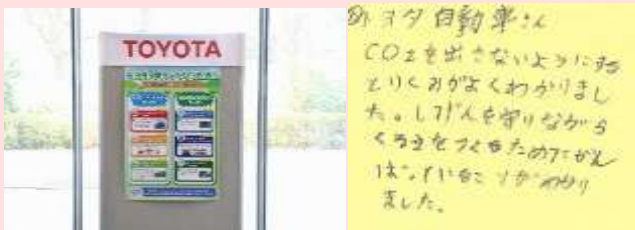
エコマーク事務局

暮らしの中で身近にあるエコマーク商品を実際に手に取り、どんなところが環境にやさしいのか、商品を選ぶときにできるエコについて考えました。



トヨタ自動車株式会社(展示による出展)

CO₂を排出しない車を作る工夫や、水などの資源を大切にしながら生産する方法についてパネルで学びました。



今日だけのスペシャルランチ！

株式会社ミールケアのご協力のもと、アレルギーフリーの特製カレーでランチタイム。
野菜パンでカレールーをぬぐうとお皿もキレイになる、エコな食べ方にもチャレンジしました。
おいしくてみんなあっという間にペロリ♪小さいメンバーも残さず全部食べられました！
東京都水道局からは「東京水」をご提供いただきました。



All Japan Youth Eco-club による発表

こどもエコクラブ OB・OG から構成される All Japan Youth Eco-club が、サポーターや高校生メンバーなどを前に、自分たちがこれまでクラブでどんな活動をしてきたのかを紹介するとともに、今自分たちがどんな環境問題に関心を持ち、どんなアクションを起こしていきたいかなどを発表しました。

話を聞いた現役高校生メンバーからは「とても刺激を受けました！大学生になったらぜひ参加してみたい！」といった声もあがりました。



みんなで表彰式★ ～賞状作り～

「エコ活セッション！」で一番最初にじっくりと取材したパートナークラブ同士で、お互いに称えあう「みんなで表彰式★」を行いました。まずは、取材内容をもとにパートナークラブがどんな活動をしていたか、どんなところが良かったかをそれぞれのクラブで話し合い、世界でたった 1 枚の表彰状をメンバーみんなで相談して作りあげます。パートナークラブにピッタリの賞名を考えようと、みんなワイワイ・ガヤガヤ！賞状のデコレーションに凝るクラブも出てきて、とてもステキな賞状が次々と出来上がりました。

絵日記部門の受賞者のメンバーは、お互いの作品を読んで感じたことなどを書き込んだスペシャル・メッセージカードを作成しました。



みんなで表彰式★ ～表彰式～

いよいよ、できあがった賞状をお互いに授与し合う「表彰式」です。賞状を読みあげ、どうしてその賞名にしたのかを説明しあって握手！そしてお互いに称えあう拍手！！どのクラブからも笑顔があふれ、これからの活動も頑張ろうという意欲が高まりました。



来賓挨拶



こどもエコクラブの活動を応援している環境省から、総合環境政策局長の奥主善美様にお越しいただき、子どもたちに期待する熱いメッセージをいただきました。子どもたちの作った壁新聞もご覧いただき、環境省としても全面的にみんなを応援していることなど心強いメッセージをいただきました。

表彰式

1年間の活動についてまとめた壁新聞や、1年間の活動で印象に残った活動・みんなに伝えたい活動を描いた絵日記をもとに、地域の特性を生かした活動や独自の発想で活動を行っているクラブ・メンバーに対して、環境大臣賞をはじめとする各賞が贈られました。



壁新聞部門 環境大臣賞: 広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)

壁新聞部門 受賞クラブ

賞名	クラブ名
環境大臣賞	広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)(熊本県益城町)
文部科学大臣賞	レインボーキッズ(愛媛県新居浜市)
日本環境協会賞	上田エコクラブ(新潟県南魚沼市)
三井住友銀行賞	湖南エコクラブ(福島県郡山市)
早稲田大学賞	上津探検隊(島根県出雲市)
エコマーク賞	大平山友遊エコクラブ(大分県別府市)



文部科学大臣賞: レインボーキッズ



日本環境協会賞: 上田エコクラブ



三井住友銀行賞: 湖南エコクラブ



早稲田大学賞: 上津探検隊



エコマーク賞: 大平山友遊エコクラブ



絵日記部門 受賞メンバー

賞名	クラブ名	名前
優秀賞	HEP21 こどもエコクラブ(青森県弘前市)	山谷 耀子さん
優秀賞	東峰エコキッズ(栃木県宇都宮市)	小野 龍之介さん
優秀賞	せいわエコクラブ(大阪府大阪市)	水谷 香菜優さん
優秀賞	玉一アクアリウム(兵庫県神戸市)	天羽 悠月さん



中:山谷 耀子さん
左:こどもエコクラブ全国事務局長 川村
右:こども環境相談室 相談員 岡本



中:水谷 香菜優さん



中:天羽 悠月さん

※小野 龍之介さんは都合により欠席のため、司会からの紹介のみとさせていただきます。

受賞作品一覧

壁新聞



◆環境大臣賞
広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)
(熊本県益城町)
○壁新聞タイトル:「大好きな熊本のわき水、絶対に守りたい!!
～あきらめない 広西わき水プロジェクト～」



◆文部科学大臣賞
レインボーキッズ(愛媛県新居浜市)
○壁新聞タイトル:「恵みを感じて! 守ろう!
えひめの自然 Part2」

壁新聞



◆日本環境協会賞

上田エコクラブ (新潟県南魚沼市)

○壁新聞タイトル:「楽しいよ 上田の自然
上田エコクラブ一年の歩み」



◆三井住友銀行賞

湖南エコクラブ (福島県郡山市)

○壁新聞タイトル:「湖南小エコクラブ新聞
目指そう! 猪苗代湖 水質日本一!」



◆早稲田大学賞

上津探検隊 (島根県出雲市)

○壁新聞タイトル:「ゲロケロカエル調査新聞 X」



◆エコマーク賞

大平山友遊エコクラブ (大分県別府市)

○壁新聞タイトル:「おんせん県 おおいた すごいぞ!
別府の温泉エネルギー発電!」

絵日記



◆優秀賞
タイトル：キレイな冬鳥たち

山谷 耀子さん
HEP21 こどもエコクラブ（青森県弘前市）



◆優秀賞
タイトル：麦ふみ

小野 龍之介さん
東峰エコキッズ（栃木県宇都宮市）



◆優秀賞
タイトル：NO2 簡易測定運動の大阪市と
青森県弘前市の結果で感じたこと
水谷 香菜優さん
せいわエコクラブ（大阪府大阪市）



◆優秀賞
タイトル：アユのつかみどり
天羽 悠月さん
玉ーアクアリウム（兵庫県神戸市）

○ 幼児クラブを対象とした「ミールケア・エコまる賞」の授与

全国フェスティバルへの参加が難しい、保育園・幼稚園のクラブなどメンバー全員が幼児のクラブには、別途審査を行い、上位2クラブに株式会社ミールケアのご提供により「ミールケア・エコまる賞」を贈呈しました。

受賞クラブには、クラブの活動場所に「エコまる」が向いて、表彰状の授与とメンバーと楽しい体験プログラム「エコまるのエコ教室」を行います(2017年5月予定)。



緑と太陽の保育園 グリーン・キッズ (青森県十和田市)
○壁新聞タイトル「みどり&たいようグリーンキッズ」



清原ねいちゃーきつず(栃木県宇都宮市)
○壁新聞タイトル「エコ活動新聞」

○ クラブ活動フォトコンテスト年間賞の決定 (協力:株式会社ケニス)

子どもエコクラブの元気な活動の様子や子どもたちの環境への思いを、多くの人に知ってもらうために行っている『クラブ活動フォトコンテスト』の平成28年度 第1期～第3期の入賞作品すべてを展示し、全国フェスティバルの参加者全員の投票によって年間賞を決定しました。



■平成28年度子どもエコクラブ賞
逆川子どもエコクラブ (茨城県水戸市)
「逆川に入ってクリスマス会」



■平成28年度ケニス賞
大阪ハッケンジャー
(大阪府大阪市)
「春のトンボを探そう」

クロージングセレモニー

がんばれ熊本・大分！エール交換

こどもエコクラブでは、2016年4月の熊本地震で被災したクラブの支援を目的として募集していた「熊本地震使途限定募金」を活用して、熊本県・大分県のクラブメンバーに配布する「応援タオル」と、災害を体験したクラブが災害時の心境を語った「災害から学ぼう ぼくたち・わたしたちの体験メッセージ BOOK」を作りました。

クロージングのスタートとして、熊本地震で大きな被害を受けた地域の広西地球環境クラブ(熊本県益城町)・大平山友遊エコクラブ(大分県別府市)と、応援タオルのメッセージを考えたせいわエコクラブ(大阪府大阪市)が登場し、タオルとメッセージブックを交換しました。

広西地球環境クラブと大平山友遊エコクラブからは、地震の怖さや、日頃の備えや防災の心がけの大切さの話がありました。また、広西地球環境クラブの代表サポーターの村上さんから、地震によってそれまでの日常が一変し、自然環境も大きく変わってしまったことをお話いただきました。実際に被災したメンバー・サポーターの体験談に、メンバーもサポーターも真剣な顔で聞きっていました。

全国フェスティバルに参加した全メンバーからは「元気な笑顔！くまもと・おおいた・こどもエコクラブ！」とみんなでタオルのメッセージが大きな声で読み上げられ、熊本と大分のクラブへエールを送りました。



こどもエコクラブ憲章・ふりかえり

最後にみんなで全国の仲間たちとの交流や活動発表、企業・団体ブースの見学で「わかったこと」「学んだこと」などを振り返りました。

メンバーから、「地震の怖さがわかった。これから防災についてしっかり考えていきたい。」「全国の仲間がいろいろな活動していることがわかった。自分たちも頑張っていこうと思った。」などの発言がありました。

最後にこどもエコクラブ憲章を読み上げ、「これからもエコ活動を続けていこう！」と誓い合って、「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2017～輝け☆全国のアースレンジャー～」を閉幕しました。



○ みんなで集まって集合写真



子どもたちからの活動レポート

全国フェスティバル終了後、地域に帰ったそれぞれのクラブから、全国フェスティバルで感じたこと、わかったこと、多くの仲間に伝えたいことなどを活動レポートが届きました。クラブからのレポートは、参加できなかった全国の仲間や関係者、その他多くの皆さんに発信するため、子どもエコクラブウェブサイトでも紹介いたします。



○ サポーターの声(一部抜粋)

- ・日本にたくさんのいい場所と元気な仲間がいることを肌で感じることができました。
- ・全国のクラブと交流できて大変良かった。子どものエコに対する知識が深まり、意識も高められた。
- ・子どもたちの伸び伸びとした活動の様子が見られて良かった。どの地域の人たちもその地域を愛して大切にしていることが良く伝わってきた。

- ・ 企業団体の取り組みも大変良く、わかりやすく説明いただきました。様々なお話を聞くことでその先にはまだまだ知らないことがたくさんあり、子どもたちの視野も大きくなっていくだろうと感じます。

代表クラブ一覧

都道府県	市区町村	クラブ名	壁新聞タイトル
北海道	釧路市	こどもエコクラブくしろ※	エコ通信 釧路湿原から2016
青森県	弘前市	HEP21 エコクラブ	わたしたちとだんぶり池の仲間たち
宮城県	仙台市	泉ヶ丘エコクラブ※	泉が丘エコクラブ新聞
秋田県	秋田市	マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ	SOTO で遊ぼう！
秋田県	秋田市	ひろおもてエコクラブ※	ひろおもてエコクラブ 1年間の活動
福島県	郡山市	湖南エコクラブ	湖南小エコクラブ新聞 目指そう！猪苗代湖 水質 日本一！
茨城県	水戸市	しんそう世界だいすきクラブ	ぼくたちのまわりには楽しいことがいっぱい！
茨城県	水戸市	逆川こどもエコクラブ	黄門様のホテル 10年の物語
栃木県	宇都宮市	東峰エコキッズ	日本一のサシバの里
栃木県	真岡市	真岡児童館やさしクラブ	手をつなごう
群馬県	太田市	スター☆クラブ	スター☆クラブしんぶん
群馬県	沼田市	しらさわエコキッズクラブ	Beautiful OZE
埼玉県	三芳町	竹の子エコクラブ	竹の子エコ新聞2016
埼玉県	宮代町	MIYASHIRO エコ☆スターズ	MIYASHIROエコ☆スターズの一年
千葉県	習志野市	イオン津田沼チアーズクラブ	干潟の役割と生き物
千葉県	浦安市	入船小学校5年1組エコクラブ	めざせ境川博士
東京都	中央区	中央エコキッズ※	こども環境防災塾新聞
東京都	新宿区	こどもエコ広場新宿	こどもエコ広場新宿新聞
神奈川県	横浜市	のじま自然観察探見隊※	この木 なんの木 気になる木
神奈川県	藤沢市	大鋸児童館こどもエコクラブ	エコエコ大鋸環境新聞
新潟県	魚沼市	三ツ星エコクラブ	三ツ星エコクラブ新聞
新潟県	南魚沼市	上田エコクラブ	楽しいよ 上田の自然 上田エコクラブ一年の歩み
福井県	福井市	豊小学校 子どもエコクラブ※	ぼくたち エコクラブの活動より
山梨県	甲府市	和泉エコクラブ	山梨 水 ポスター
長野県	松本市	いきものみつけファーム in 松本	いきものみつけファーム新聞 楽しかった♪一年間の活動
長野県	諏訪市	高島小学校6年1部	楽しく、遊ぼう 森林すぐろく
岐阜県	飛騨市	一般社団法人 飛騨シュール	①植物せつめい新聞 ②ecoでおし入れを部屋にしよう！
静岡県	富士市	原田湧水クラブ	いろんな生きものがつながっているよ
静岡県	湖西市	今川こども自然クラブ	里山は自然の宝物～里山の営みが自然を守る～
愛知県	半田市	半田こどもエコクラブ	知多の自然
愛知県	豊田市	ゴーウィングス	水新聞
三重県	津市	なひがんぼる隊	森づくり
三重県	松阪市	学校法人梅村学園 三重中学校・高等学校 科学技術部	干潟から学ぶ環境
滋賀県	守山市	なかす野洲川たんけん隊	私たちの野洲川レストラン～野洲川のめぐみをいただきました～
京都府	京都市	西京極児童館自然探検隊2004	たのしかったこの1年
京都府	和東町	和東中学校エコクラブ	アサギマダラ2000kmの旅
大阪府	大阪市	せいわエコクラブ	たのしもうエコ活動
大阪府	大阪市	大阪市立新北島中学校科学部	大阪の身近な自然の調査記録
兵庫県	神戸市	しのっちょ・バレーヌ※	しのっちょしんぶん しのはら米(MY)をつくろう
兵庫県	姫路市	小林家	矢田部(平田)川の生物定点調査
鳥取県	米子市	自然といきものみつけ探検	発見！自然の中の生き物たち
鳥取県	米子市	イオン日吉津チアーズクラブ	動物 水・海に住む生物
島根県	出雲市	上津探検隊	ケロケロカエル調査新聞X
岡山県	岡山市	岡山ハッケンジャー	岡山ハッケン新聞
岡山県	津山市	わくわくエコクラブ	わくエコ生き物新聞
広島県	広島市	イオン広島祇園店チアーズクラブよつば隊	まろう！絶滅危惧種
香川県	高松市	シオン・エコサイエンスクラブ	地球守り隊！！
愛媛県	新居浜市	レインボーキッズ	恵みを感じて！守ろう！えひめの自然 Part2

都道府県	市区町村	クラブ名	壁新聞タイトル
高知県	香美市	香美市子どもエコクラブ みどりクラブ	うちらあが森を守るがやきね！
高知県	香美市	香美市子どもエコクラブ みどりサイクル※	ぼくらのエコ活動
福岡県	北九州市	イオン若松チアーズクラブ	かっぱ隊が行く 2016年
福岡県	筑紫野市	エコまめクラブ	ぼくたちのふるさと「みかさのしぜん」
佐賀県	鹿島市	鹿島市子どもラムサール観察隊※	①ラムサール新聞これからの活動 ②アイデアレシビ～私たちにできること～
長崎県	佐世保市	こぼとエコクラブ※	こぼとっ子通信
長崎県	平戸市	下里エコクラブ※	下里エコクラブ～2016ver～(自然との出会い、人とのふれあい)
熊本県	水俣市	水俣市立水俣第二中学校※	eco 二中～小さな活動から～
熊本県	益城町	広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)	大好きな熊本のわき水 絶対に守りたい！！ ～あきらめない 広西わき水プロジェクト～
大分県	別府市	大平山友遊エコクラブ	おんせん県 おおいた すごいぞ！別府の温泉エネルギー発電
鹿児島県	大崎町	大崎小地きゅうとなかよしエコクラブ	なかよし地球に花のプレゼント
鹿児島県	屋久島町	知りたい！守りたい！屋久島隊※	やくしま新聞
沖縄県	恩納村	OMRC 子どもエコクラブ	移動水族館
沖縄県	竹富町	西表ヤマネコクラブ※	西表山猫新聞

※都合により欠席したクラブ

広報・普及活動

多くの方々に全国フェスティバルの周知を図るため、さまざまな手法を用いて広報活動を行いました。

- ・子どもエコクラブホームページ、SNS、メーリングリスト等にて、全国の登録クラブ及び地方自治体等へ発信。
- ・公益財団法人日本環境協会 プレスリリース
- ・環境省、文部科学省等の記者クラブへのリリース
- ・地方自治体、環境関連施設、環境団体等へのリリース
- ・子どもエコクラブ パートナー企業・団体へのリリース など

都道府県代表のクラブの紹介等、全国フェスティバルに関連する情報は、メディアや各地方自治体、パートナー企業・団体、環境関連施設、環境団体、教育委員会等によって、様々な媒体において掲載されました。

◆地方自治体(一部抜粋)



新潟県(2017.2.23)



千葉県習志野市(2017.3.16)



栃木県(2017.2.23)

◆メディア(一部抜粋)



熊本日日新聞(2017.2.24)



西日本新聞(2017.3.16)



熊本日日新聞(2017.3.20)



大分合同新聞(2017.3.31)



大分合同新聞(2017.3.25)



エコチル東京版2月号(2017.2)

◆企業・団体等(一部抜粋)



三井化学株式会社
(2017.3.22)



ライオン株式会社
(2017.4.6)



株式会社イトーキ
(2017.4.6)



株式会社三井住友銀行
(2017.3)

『子どもエコクラブ全国フェスティバル 2017 ～輝け☆全国のアースレンジャー！～』の開催に際し、
子どもたちの環境活動を応援する企業・団体からご支援・ご協力をいただきました。

◆後援

環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁、公益社団法人子ども環境学会、
全国小中学校環境教育研究会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK

◆出展企業・団体

アマノ株式会社、株式会社イトーキ、株式会社エフピコ、王子ホールディングス株式会社、
SGホールディングスグループ(佐川急便)、島村楽器株式会社、DOWA エコシステム株式会社、
トヨタ自動車株式会社、ニッポンハムグループ、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、
文化シャッター株式会社、三井化学株式会社、株式会社三井住友銀行、ライオン株式会社、
エコマーク事務局

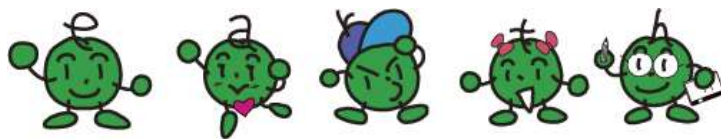
◆協力

株式会社ミールケア、東京都水道局、井筒まい泉株式会社、株式会社ケニス、
三井不動産株式会社、株式会社龍角散

●子どもエコクラブは、多くの企業・団体の支援により活動しております。

アサヒホールディングス	アトリエはるか	アマノ	アライアンス
イオン1%クラブ	イトーキ	エコスグループ	エコ・ファースト推進協議会
SGホールディングスグループ (佐川急便)	エフピコ	ELEHOUSE(エレハウス)	塩ビ工業・環境協会
王子ホールディングス	緒方不動産鑑定事務所	岡山東法人会	オフィス・エヌ
共立駐車場工事	共立理化学研究所	キリン	ケニス
コカ・コーラウエスト	島村楽器	シミズオクト	清水建設
住商フーズ	3R活動推進フォーラム	世界貿易センタービルディング	積水化学工業
全労済	総合ハウジングサービス	高杉製薬	高光産業
タカラトミー	坪井工業	鉄建建設	東京交通会館
東京国際フォーラム	東京建物	東京都民銀行	東京リサイクル
東洋ライス	東レ	DOWA エコシステム	トヨタ自動車
西久大運輸倉庫	西日本ビル代行	ニッポンハムグループ	日本印刷産業連合会・ グリーンプリンティング認定事務局
日本容器包装リサイクル協会	長谷工コーポレーション	林事務所	バンダイナムコホールディングス
富国運輸	フジメンテニール	ブリヂストン	プリプレス・センター
プロントコーポレーション	文化シャッター	ミールケア	三井化学
三井住友海上火災保険	三井住友銀行	三井不動産	三菱地所
三菱地所設計	三菱地所ホーム	三菱地所リテールマネジメント	三菱地所レジデンス
三菱電機	ミヨ・コーポレーション	山田養蜂場	ライオン
リソー教育グループ	リッキーシステムソリューション	龍角散	ロックペイント

(五十音順・2017年3月現在)



■ 公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9F

TEL:03-5643-6251 FAX:03-5643-6250

こどもエコクラブウェブサイト <http://www.j-ecoclub.jp/>